

シャンティ山口 ニュースレター

第77号

発行：2010年4月24日/発行責任者：特定非営利活動法人 シャンティ山口 代表 角 直彦
連絡先事務局 〒753-0215 山口市大内矢田 717 佐伯昭夫 電話/Fax 083-927-4083
ホームページアドレス：<http://www.shanti-yamaguchi.com/>



今年もあったか村と共同参加

この海から地球が見える！



当日の「虹が浜」

この穏やかな瀬戸内海。じつは日本にある約半数、3,000もの島と激しい潮流を持つ、世界的にも貴重な海で、古くから自然の知恵と豊かな海洋文化が花開いてきました。私たちのすぐそばにあるこの海をもっと知り、もっと楽しむと地球の息づかいが聞こえてきます。4回目の開催となる今回の『アースデイ@瀬戸内』のキャッチフレーズは「出航！未来への方舟（はこぶね）」です。美しい地球を未来へつないでいくために、今私たちに何ができるのか。みんなで考えて、そして実行していきましょう。（アースデイ@瀬戸内実行委員会）

<シャンティ山口&あったか村>

トイレと水の問題は、地球環境問題の要（かなめ）です。

世界では、26億の人がトイレがないか、非衛生的なトイレ環境にあると言われていました。

排泄物を衛生的に処理すること、衛生的なトイレが全ての人に供されていること。

これは、基本的な人権にかかわる世界の人々の課題です。

私たちは、タイ北部農山村地帯で山岳少数民族モン族の支援の一環として、日本の江戸時代に確立された「肥溜めと畑の知恵」という自然浄化法にもとづくトイレをつくってきました。

地球環境基金の助成事業と、自己資金で、ここ3年間で10件のトイレ設備をつくりました。

そこで、私たちが学んだことは、人の糞尿は、資源だということです。

メタン発酵でガス・燃料として使えます。

また、畑の肥料として大地を豊かな耕作地にします。

ひるがえって、先進国の「下水道システム」をみると多くの水資源を使い処理水を河川や海に放流し、他方で、下水道汚泥を産業廃棄物として、多大なエネルギーを使って埋め立て・焼却処分しています。

今年の展示では、「糞尿を資源」とする持続可能な農業農村開発と循環型社会への道をアピールします。

ぜひ、私たちのブースを覗いてください。また、質問をしてください。

そして、私たちの活動へ一人でも多くの方のご支援と参加をお願いします。（安藤）



「自然循環式トイレシステム」模型とシャンティ山口出展ブース



地熱発電の提言と学習を实践する天音くん」の素晴らしいお話 源之助さんの「環境保護」を訴える盛り上がりのステージ

—環境衛生活動募金にご協力をお願いします。—

2010.4.24saki